

# 「日本と世界が出会うまち・堺 2013」教育セミナー

日時 2013年8月11日(日)9時30分～16時

場所 堺市立西文化会館(ウェスティ)ホール

## 開催趣旨

堺は、ユネスコ世界文化遺産登録をめざす百舌鳥古墳群が造営された古代以来、多彩な国際交流の歴史を持っています。とりわけ15世紀から17世紀には、日明貿易、琉球貿易、南蛮貿易などの国際交易で繁栄し、「日本のベニス」と呼ばれました。千利休に代表される茶の湯文化なども、この時代に大きく花開きました。次代を担う中学生・高校生を対象として、このような堺の国際交流の歴史に関する研究発表を公募したところ、7校から12グループの応募がありました。本日の教育セミナーは、これらの研究発表や講演を通して、日本や世界の歴史に対する理解を深めるとともに多文化共生の心を育み、アジアをはじめ世界各地との新たな架け橋となる人材の育成をめざして開催されるものです。

## プログラム

時間		内容					
09:00	09:30	開場	受付開始				
09:30	09:40	開会	はじめのご挨拶、進行説明				
			グループ名	研究人数	発表人数	テーマ概要	形式
09:40	10:00	研究発表 1番	大阪府教育センター附属高等学校 OPEC8	8	8	南蛮貿易	劇
10:00	10:20	研究発表 2番	大阪府立千里青雲高等学校 東洋史探究 チーム茶菓子	6	6	茶菓子	パワーポイント
10:20	10:40	研究発表 3番	大阪府立堺東高等学校 堺学講座②	4	2	須恵器	パワーポイント
10:40	11:00	研究発表 4番	大阪府立泉陽高等学校 文芸部	10	5	晶子とパリ	冊子展示
11:00	11:20	研究発表 5番	四天王寺中学校 社会科同好会	3	2	茶の文化	パワーポイント
11:20	11:40	研究発表 6番	雲雀丘学園中学校・高等学校 中学1・2年生合同グループ	5	5	巨大古墳	パワーポイント
11:40	12:00	研究発表 7番	大阪府立千里青雲高等学校 東洋史探究 チーム blue cloudy	6	6	食文化	パワーポイント
12:00	12:20	研究発表 8番	大阪府立千里青雲高等学校 東洋史探究 ペピチ三吉	6	6	スポーツ	パワーポイント
12:20	13:00	昼食・休憩					
13:00	13:20	研究発表 9番	大阪府立泉陽高等学校 弦楽部チーム#	8	8	キリシタン音楽	弦楽合奏
13:20	13:40	研究発表10番	大阪府立堺東高等学校 堺学講座①	5	4	南蛮菓子	パワーポイント
13:40	14:00	研究発表11番	大阪府立泉陽高等学校 弦楽部チームb	16	16	晶子とパリ 現代音楽	弦楽合奏
14:00	14:20	研究発表12番	帝塚山学院泉ヶ丘中学校高等学校 ユネスコ部・インターアクトクラブ	6	4	百舌鳥古墳群	パワーポイント
14:20	15:20	講演	桃木 至朗・大阪大学大学院教授(大阪大学歴史教育研究会代表) 「日本史を世界史と結びつけて考える」				
15:20	15:40	休憩(この間別室で最終審査)					
15:40	15:55	審査結果発表 表彰式 講評	高校生の部＝最優秀賞1、優秀賞2、奨励賞7 中学生の部＝最優秀賞1、優秀賞1				
15:55	16:00	閉会	おわりのご挨拶				

研究発表 要旨							
時間		内容	グループ名	研究人数	発表人数	テーマ概要	形式
09:40	10:00	研究発表 1番	大阪府教育センター附属高等学校 OPEC8	8	8	南蛮貿易	劇
中近世の堺の貿易を糸口に世界との関わりを考える							
<p>私たちは、日本史の授業にも出てくる16世紀の堺の貿易を糸口に、堺と世界との関わりを調べてみました。研究の成果を劇で紹介します。</p> <p>《劇の題名「謎のクイズ王X」》</p> <p>16世紀の堺の貿易について調べようと、堺市博物館に行く道中、主人公の星架と菜々は、異世界へ迷い込んでしまう。迷い込んだ先には、クイズ王と名乗る「南蛮人」の格好をした4人組が現れた。16世紀の堺の貿易にちなんだクイズに正解しなければ、現代の堺には戻れない！！</p> <p>えっ、「南蛮船」は堺に来なかったの？！・・・でも、かの有名な宣教師フランシスコ・ザビエルも堺の町をめざしてきたはず・・・当時の堺は、どのようにして貿易をしたんだろう？！・・・</p> <p>会場のみなさんで、どうか2人を正解に導き出してください！！</p>							
10:00	10:20	研究発表 2番	大阪府立千里青雲高等学校 東洋史探究 チーム茶菓子	6	6	茶菓子	パワーポイント
堺と茶菓子～茶菓子と歩んだ歴史～							
<p>私たちは茶菓子と千利休について調べました。</p> <p>まず私たちは、堺の歴史について調べました。1467年に応仁の乱が起こり、京都からたくさんの人々が奈良や堺に引っ越し、商売がし易かった堺は賑やかになって栄えました。</p> <p>大永2年(1522年)に堺の豪商の長男として生まれた千利休は、若くして茶湯を学び、信長・秀吉の茶頭をつとめ、わび茶を大成しました。利休が好んだ茶菓子が「麩焼き」です。麩焼きとは小麦粉を水で溶き、くるとロール状に焼いただけのシンプルなものです。その中に利休は味噌を入れました。当時、砂糖は大変高価なものだったため、甘味として山椒味噌を用いました。なお、利休の頃の茶菓子は「利休茶会記」によるとぎくろ・焼き栗・いりかや・こぶ・しいたけなど今のお菓子類とは違うものでした。</p> <p>《茶菓子の条件》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※お茶のおいしさを引き立てること</li> <li>※さりげなく四季折々の自然の趣さを思い起こさせること</li> <li>※新鮮でいい天然の原材料が使われ、風味があること</li> <li>※香りがあり、場所は強すぎず、ほのかな香りであること</li> <li>※美味しそうに思える色、姿であること</li> </ul> <p>私たちは、直接的な茶菓子と堺の関係について学習を深め、しっかりとまとめていきます。</p>							
10:20	10:40	研究発表 3番	大阪府立堺東高等学校 堺学講座②	4	2	須恵器	パワーポイント
須恵器物語							
<p>陶器窯跡群のある泉北丘陵地帯に立地する堺東高校。その身近にある歴史的資料に着目して、須恵器の生産について調べました。</p> <p>研究に当たっては、インターネットや文献資料だけに頼らず、実際に泉北すえむら資料館の森村健一館長を訪ね、調査を進めました。</p> <p>①動機は、学校近くの陶器山で多くの須恵器が生産されていたことを知り、より深く調べたいと感じたからです。</p> <p>②渡来人がもたらした須恵器という新技術について、伝わった年代・国・伝播ルートを調べます。</p> <p>③須恵器の生産方法や生産工程を調べ、12世紀に入って須恵器生産が衰退した理由まで明らかにします。</p>							
10:40	11:00	研究発表 4番	大阪府立泉陽高等学校 文芸部	10	5	晶子とパリ	冊子展示
与謝野晶子の人生とパリ							
<p>我が泉陽高校出身の与謝野晶子さんの人生、活躍についてまとめ、その生涯の中で、夫である与謝野鉄幹さんとのような恋愛をし、また、彼との結婚によって彼女の人生はどのように変わったのか、その時の彼女の作品にはどのようなものがあるのか、そして、彼を追いかけていったパリへの旅は、一体彼女にどのような影響を与えたのか、また、その旅の中での彼女の作品はどのようなものがあるのか、当時のパリや日本の事情などについて取り上げながら、文芸部らしく、かつ高校生らしい繊細な描写で、また、わかりやすく誰でも読みやすい「漫画」という形でまとめ、発表します。</p>							

研究発表 要旨							
時間		内容	グループ名	研究人数	発表人数	テーマ概要	形式
11:00	11:20	研究発表 5番	四天王寺中学校 社会科同好会	3	2	茶の文化	パワーポイント
日本と世界のTea Culture～茶でつながる世界の文化～							
<p>茶は中国・雲南省の辺りで紀元前2700年ごろに発見されたと考えられ、紀元前1世紀頃には既に飲茶の習慣があり、茶の売買も行われていた。日本には遣唐使によって茶が伝えられたが当時は日本の文化としては定着しなかった。</p> <p>その後、鎌倉時代初期に栄西禅師が宋から茶を持ち帰り、日本の茶の歴史が始まった。栄西の『喫茶養生記』は、わが国の喫茶文化普及に多大な影響を及ぼし、15世紀後半～16世紀前半には千利休らによって茶道が大成されるなど、日本の茶文化は最盛期を迎えた。</p> <p>1610年にはオランダ東インド会社が長崎の平戸からヨーロッパに向けて日本茶を輸出した。日本とオランダとの茶貿易は衰退したが、その間にも茶はヨーロッパ各地に広まり、ついにはアメリカ独立戦争のきっかけとなったボストン茶会事件までも引き起こした。</p> <p>再び日本による茶の輸出が始まったのは1859年、長崎・横浜・函館の開港を機に茶が181トン輸出され、その後もお茶の輸出量は政府の援助によりアメリカを中心に増加した。しかし、紅茶がイギリスの風土にぴったりなのと同じように、日本茶も日本の風土には合ってもアメリカでは同じようには味わえず、茶の輸出は衰退の一途をたどった。</p> <p>私たちが普段何気なく飲んでいる飲み物である「茶」。それは世界の歴史を大きく動かす原動力となったのだ。</p>							
11:20	11:40	研究発表 6番	雲雀丘学園中学校・高等学校 中学1・2年生合同グループ	5	5	巨大古墳	パワーポイント
ヤマト政権の拡大と巨大古墳ーよろい・かぶとと渡来人の技術							
<p>堺市とその周辺に巨大古墳が築かれたのは、5世紀ごろにヤマト政権の力が強くなり、その勢力が全国的に広がったからである。その背景には、渡来人がやってきて多くの技術を伝えてくれたことがある。その中でも鉄製のよろい・かぶとをつくる技術は、ヤマト政権に武力による統一事業に大きく役立ったと考えられる。</p> <p>私達は、古墳時代のよろい・かぶとがどのようなもので、それがどんな技術によって作られたのかを、奈良県立橿原考古学研究所附属博物館など各地の博物館を訪ねて、古墳から出土した実物を観察して調べ、渡来人の伝えた技術が巨大古墳の造営にどのように関わったかを考えてみたい。</p>							
11:40	12:00	研究発表 7番	大阪府立千里青雲高等学校 東洋史探究 チーム blue cloudy	6	6	食文化	パワーポイント
堺's food							
<p>最初は堺の古墳と食べ物について調べていましたが、なかなか情報が集まりにくく、和菓子などがたくさん出てきた食べ物について調べることになりました。</p> <p>貿易の盛んだった室町時代以降、堺では「久瑠美餅」、「けし餅」、「ニッキ餅」の3つが主に食べられていました。3つとも世界との関わりがありました。久瑠美餅は、千利休も賞味したという堺の歴史ある菓子で、明の国から入荷した穀物を用い、塩餡を作り餅でぐるんで販売しました。のちに、砂糖が輸入され、今日の餅が生まれました。</p> <p>けし餅は、室町時代にインドからもたらされたと言われ、けしは堺近郊で栽培されました。安土桃山時代に千利休によって広められた茶の習慣は、堺で多くの和菓子を生み出し、その一つにけしの香味を生かして、けし餅が考案されました。ニッキ餅は、南蛮貿易が盛んだった安土桃山時代に、輸入された香辛料、ニッキ(肉桂)を用いた香ばしい餅菓子が作られたのが始まりだそうです。</p> <p>さらに、ほかに輸入されたもので作られた食べ物や、食品を通じた国際交流について調べていきたいです。</p>							
12:00	12:20	研究発表 8番	大阪府立千里青雲高等学校 東洋史探究 ペピチ三吉	6	6	スポーツ	パワーポイント
FOREVER 堺 ～スポーツがくれたキセキ～							
<p>僕らは全員が運動部所属なので、「堺とスポーツ」という題について調べることにしました。班のみんなで協力して、学校の図書館やインターネットを活用して、調べ学習を進めました。</p> <p>初めに、浜寺水練学校についてです。浜寺水練学校は、男子部、女子部、研究科に分かれて泳法指導が行われています。1934年には、定員1900人を数える大規模な学校組織でした。なお、この学校は、日本のシンクロナイズドスイミングの発祥の地として知られています。次に、堺に本拠地を置く、堺ブレイザーズについてです。堺ブレイザーズはもとも「新日本製鉄」のバレーボールチームとして始まったのです。現在まで、日本リーグ(現Vリーグ)で通算16回の優勝を誇る同チームは、2000年から「堺ブレイザーズ」として独立し、2013年の日韓Vリーグトップマッチでは、優勝を飾っています。自転車競技では、5月19日から16th TOUR OF JAPANが開催され、第1ステージが堺で行われました。イタリアや中国、オーストラリア、韓国、シンガポールなどの海外チームも多数出場しています。</p> <p>堺とスポーツに関する情報をもっと集めるとともに、今ある情報をさらに深く掘り下げていきたいです。</p>							

研究発表 要旨							
時間	内容	グループ名	研究人数	発表人数	テーマ概要	形式	
13:00	13:20	研究発表 9番	大阪府立泉陽高等学校 弦楽部チーム 井	8	8	キリシタン 音楽	弦楽 合奏
<b>天正遣欧使が伝えた音楽を弦楽器で演奏する</b>							
<p>1582年、キリシタン大名たちが日本人にキリスト教世界の偉大さを見せるために派遣した少年たちを天正遣欧使節と言います。彼らは2年の船旅の後、ヨーロッパの玄関口リスボンに到着し、そこで黄金期にあった後期ルネサンスの音楽に触れました。</p> <p>1590年、帰国した一行は翌年京に上って聚楽第で関白秀吉に謁見し、その前で西洋楽器を用いた合奏を披露しました。そして、その音楽は南蛮貿易の拠点となった堺でも演奏され、会合衆や納屋衆といった商人たちにも親しまれました。</p> <p>私たちは、天正遣欧使節により日本に伝えられ、当時、今日のリュート、ハーブ、レベック、クラヴィオの基となった楽器を使って演奏された音楽を、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロの弦楽器で再現します。</p>							
13:20	13:40	研究発表10番	大阪府立堺東高等学校 堺学講座①	5	4	南蛮 菓子	パワー ポイント
<b>ザキエもん・のだ太のフードカルチャー時空伝</b>							
<p>「タイムマシンに乗って過去を調べる冒険に出発する」という設定で、南蛮菓子について発表します。現在まで伝わるお菓子と製法や味、出来上がりの見た目などに違いがないかを調査します。</p> <p>①私たちが普段食べている菓子類に、南蛮貿易で堺に伝来したものがあることを知り、どんな菓子か・どのように伝わってきたか・どのような原料でつくられたのか…などを調べたい。</p> <p>②伝わってきたもの(有平糖、金平糖、カステラ)について、どのように伝わったか、当時と現在では形や味に違いはないか、製法の違いはないか、原料は日本でとれたのか、南蛮貿易で手に入れたのか…などを調べる。</p> <p>③カステラを現在の製法と伝来したときの製法で実際に再現し、比較分析する(カステラの原型ビスコチョの再現)。</p>							
13:40	14:00	研究発表11番	大阪府立泉陽高等学校 弦楽部チーム b	16	16	晶子とパリ 現代音楽	弦楽 合奏
<b>晶子が、愛する鉄幹とパリで聴いた現代音楽</b>							
<p>歌人と謝野晶子が文学的スランプに陥って苦悩していた鉄幹に、新たな刺激と共に精神的落ち込みから回復させんとパリに送り出したのが1911年。その後を追うように、シベリア鉄道経由で、晶子もパリに向かう。パリで再会した二人は、彫刻家のロダンとの交流などを深め、多くの芸術家と交わっていく。</p> <p>音楽家との交流は定かではないが、当時のパリは、あらゆる芸術の中心であり、また様々な芸術の革命的な変革の起こる前年でもあった。ストラヴィンスキー、ドビュッシー、ラヴェル、サティなど、後年の音楽家に多大な影響を及ぼす音楽家が鎗を削っており、現在われわれが聴く多くの作品を競うように発表していた時期でもある。そこで、1912年に発表されたり、再演された作品を、調査・研究し、弦楽合奏、またはオーケストラで演奏再現する。</p>							
14:00	14:20	研究発表12番	帝塚山学院泉ヶ丘中学校高等学校 ユネスコ部・インターアクトクラブ	6	4	百舌鳥 古墳群	パワー ポイント
<b>クイズで学ぶ百舌鳥古墳群</b>							
<p>帝塚山学院泉ヶ丘中学校高等学校は堺市内にあります。そして、堺市内には、ユネスコ世界文化遺産になる可能性が高い大仙古墳(仁徳陵)など多くの古墳があります。</p> <p>私たちのクラブでは、数年前から大仙古墳についてもっと調べたいという声が出ていましたが、今回「日本と世界が出会うまち・堺 2013」のプロジェクトに参加して、本気で調べたいと考えるようになりました。</p> <p>大仙古墳には、政治的価値、当時の国際関係上の価値、現在の観光資源としての価値などが考えられます。これらの価値のほかに、大仙古墳を活かした郷土愛の育成などについても関心があります。どこまでできるかはわかりませんが、努力します。そして、百舌鳥・古市古墳群が世界文化遺産になれるように、少しでも応援したいです。発表の形式は、パワーポイントを使いながら、クイズ形式で参加してもらいながら、説明もします。</p>							

講演 講師プロフィール			
14:20	15:20	講演	桃木 至朗・大阪大学大学院教授(大阪大学歴史教育研究会代表) 「日本史を世界史と結びつけて考える」
<p>桃木 至朗(ももき しろ)。大阪大学大学院文学研究科教授(東洋史学)。専門は、ベトナム中・近世史を中心とする東南アジア史。現在、海域アジア史の構築に取り組むとともに、今回のプロジェクトの主催者である大阪大学歴史教育研究会の代表として、世界史教育再建のための評論・解説・教材作成や、歴史学・歴史教育をめぐる「高大連携」などに力を注いでいる。『歴史世界としての東南アジア』(山川出版社/1996)、『海域アジア史研究入門』(共編者/岩波書店/2008)、『わかる歴史・面白い歴史・役に立つ歴史 歴史学と歴史教育の再生をめざして』(大阪大学出版会/2009)、『中世大越国家の成立と変容』(大阪大学出版会/2011)など著書多数。</p>			